



平成 15 年度 定期総会を開催

去る 5 月 24 日学童において平成 15 年度の総会が開催され、下記の議事について、報告及び意見交換を行いました。

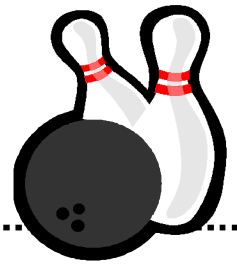
- 議事
- 役員改選 現役員が全員再選しました
 - 平成 14 年度収支決算報告 及び 監査報告 (別紙 収支報告書参照)
* 記念行事等積立金として 30 万円積み立てました
 - 平成 15 年度 活動予定
 - 町会ふるさと祭り 7 / 26 (土)、27 (日)
* 今年度は 2 日間開催 鳳和會の会員の方も積極的に参加し盛り上がりましょう!
 - 町会祭礼・両社祭 9 / 6 (土)、7 (日)
 - 会員親睦旅行 (行先: 福島 温泉) 11 / 1 (土)、2 (日)
* 会員、賛助会員の方はどなたでも参加できますので、参加お待ちしております
* 参加費は約 35,000 円位の予定
 - その他
町会餅つき大会・夜警 (12 月)
レクリエーション・新年会 (1 月)

鳳和會の歴史 < > 副会長 佐藤 眞一

昭和 50 年代から荏原 4 丁目に大神輿を作ろうと言う話はあったが、昭和 63 年に三英社社主の大場会長の地元町会である荏原 7 丁目に神輿が出来たこともあり、大場会長から荏原 4 丁目にも神輿を作ったらと言う話が当時の広田町会長にあった。町会にて検討し、全町会員に案内状と寄付金募集の働きかけを行い、いよいよ我が町会でも念願の大神輿を作ることが決定された。(平成元年 2 月) 平成 2 年 5 月の完成に先駆け、神輿の担ぎ手をどうするかと話し合いが持たれ、堀口前会長、時田会長はじめ若者 7 ~ 8 名を中心に、祭り好きの担ぎ手が集まり鳳和會が結成された。会の趣旨は安定した担ぎ手の確保と神輿の管理、保全、また祭礼の時には、安全な神輿の運行を目的とされる。平成 2 年の祭礼から連合渡行にも参加し現在に至っている。その間に色々楽しい事や感動したこと等、話は尽きないが次の機会の時に書くことにしよう(^)。



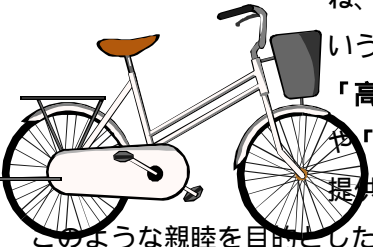
H2 三谷八幡にて



高橋則一です。今回は半年も前の事になりますが、初の試みとなった

「会員親睦ボーリング大会」と恒例の「新年会」のおはなしです。

平成15年1月19日(日)遠藤昭次さんのご協力をいただき、品川ボーリング場での開催となりました。当日は30名ほどが参加し、平野商店前に集合、持ち寄りの車に分乗し新しくなった品川プリンスボーリング場へボーリング暦数10年のベテランから小学生まで、和気あいあいとボーリングを楽しみました。大会は2ゲームのトータルで行われ、栄えある第1回大会の優勝は、永井敏明さんでした。表彰式は新年会も兼ね、小山4丁目のQ&Qに場所を移し行いました。賞品は上位の方から順にくじ引きをするという方式をとったため、優勝の永井さんは残念ながら「リポビタンD10本」、目玉商品の「高級自転車」は門間愛子さん(2?位)がゲット、その他にも、「魚沼産のコシヒカリ」や「家庭用タコ焼き機」など、参加者にはもれなく商品がいきわたりました。賞品の一部を提供して下さった東京トヨペット荏原店様、佐藤真一様、他に深く感謝いたします。



このような親睦を目的とした行事は、賛助会員の方々、一般会員の方々が広く参加いただけるよう企画していきたいと思っておりますので、どうぞご協力お願いいたします。

副会長 高橋則一

豆知識

祭

講談社現代新書 漢字の字源より

疫病の退散、天変地異の鎮め、日々の平穏を祈りあるいは収穫や利益に感謝するといったいわゆる神事と呼ばれる行いが「祭」という字の意味する原点なのです。
現在ではとても広い意味に使われ、商店街の売り出しまで、「祭り」などと呼ぶように人集めイベントなど広い意味合いを持たせて使われますが祭りの根底にあるのは「祈り」なのです。

「祭」という字は「月」と「又」と「示」からなります。
「月」は肉の字から転じた「いづゆる」に「く」を
「又」は手の形
「示」は空から下りてきた神が地上に「ひびく」るときに
より「こころ」とする小さな神卓の形
つまり肉を台の上に捧げ持つ形がそのまま字になったものと言われ
ています。

まだ間に合います!

持ち半纏の注文をされる方、遅くても
7月10日頃までに、鳳和會役員まで
お知らせ下さい。
価格は、町会の補助金(5,000円)を引き
17,000円(紬) 13,000円(綿)の
2種類です。

【編集後記】

第1号で募集した名入り提灯の値段が
¥8,000から¥6,000(税込み)
になりましたのでお知らせします。
今回に掲載の『鳳和會の歴史』『則一のお
楽しみレポート』『豆知識』はシリーズ化
しますので、お楽しみに(^_^)
この『鳳和會便り』は、会員皆様方の声
の発信基地とも考えていますので、ご意
見・ご感想などお寄せ下さい。(事務局)

通信費等節約のため、PCをお持ちの方は
メールアドレスを事務局までお知らせ下さい

事務局

電話 070-5020-4932

(13:00~21:00)

FAX 03 3783 8027